

テーマ：喰う寝るところに棲むところ (1年) 11月13日～



お隣蚕糸の森公園にはいつもたくさんのハトがいます。お昼休みや放課後に蚕糸の森を通ると通行人がハトに餌をばらまいているのを目撃することがありますが、あれは何をあげているのでしょうか。ハトが食べるものを調べてみたところ、ミミズや木の実など自然の物の他に、パンやポテト?のような、人間の食べ物も食べるということが分かりました。



人間が食べるものを食べる野生動物は他にもいます。そう、カラスです。目黒の自然教育園で鳥の研究をされている方に、カラスの特性について質問します。「カラスはビー玉とかキレイなものを集めると書いてあったのですが、どうしてですか?」という質問には「分かりません」という回答。身近な存在のカラスですが、まだ解明されていない特性もあるようです。

テーマ：天災は忘れた頃にやってくる (2,3年) 11月13日～

「天災」と言った場合、天からの災いなので自然災害のことを指すと思われます。さて、竜巻、雷、洪水、雪崩、などたくさん発見した天災の中でも、もっとも恐ろしいと子どもたちが感じているのが「地震」だそうです。

いざ地震が起きたとき、自分たちは何をしたらいいのでしょうか。安全パトロール隊の大口さんは、助けを求める「笛」の携帯をまずすすめてくださいました。それから、制服を着たお巡りさんや駅員さんに助けを求めると良いとのこと、泣くのを「ぐっ」と我慢して、名前や住所、親の電話番号を伝えることを子どもたちに助言してくださいました。



テーマ：食べ物が消える日 (4年) 2006年11月13日～



熊が人里に出没!! イノシシが畑を荒らす!! 今年2006年は、動物と人間の間に起こるトラブルが多くニュースなどで取り上げられました。最近話題となる動物に関するニュースを分析し、これらの事件から考えられることをまとめます。



食べるものと食べられるものの連鎖のどこが崩れているのでしょうか? バランスが崩れている例を挙げて、それがこのまま続くかどうかを考えます。調べていて思ったこと、普段から感じていたことなど「自分の考え」を「自分の言葉」で話すことを目標にテーマ発表会に向けて発表の練習をしました。


長野農業体験合宿2006新聞 2006年11月1日～

子どもファーム・ネットの壁新聞コンクールに出品すること、お母さんやお父さんに農業体験の報告をすること、ランネット子どもたちに農業体験の紹介をすること、そして長野農業体験合宿でお世話になった長野の人たちへ感謝の気持ちを伝えることを目的として、農業体験新聞づくりに取り組みました。



原案プラン、プラン修正、レイアウト決め、下書き、本製作と手順を追って作成しています。マコの厳しいダメ出しの数々にめげる事なく、子どもたちは何度も、何度も、書いては消しての繰り返し。いい仕事をしています!! テーマ学習の成果か、よい(農業)体験をしたこと的作用か・・・半端な集中力ではありません。



 **東京コミュニティスクール Tokyo Community School**

〒166-0012 東京都杉並区和田 3-37-5 第5鴨下ビル TEL 03-3313-8717 FAX 03-5305-7234 ホームページ <http://tokyocs.org/>